

環境保全と再資源化への提言誌

月刊廃棄物

Monthly the Waste Vol.42 No.545

since 1975



特集 ごみ屋敷と不用品回収の問題解決へ

- 特別企画 EUが進める「循環経済」とは
- レポート 食品廃棄物不正転売事案の再発防止へ 合同会合を再開
- シリーズ 全国縦断 事業系一般廃棄物搬入手数料の動向



Personal Effects Cleaner

遺品整理 実務スタディ

アメージー(株) 代表

古川めぐみ Kogawa Megumi



vol. 28 古川めぐみ・その2 遺族の背中を押してあげる

から、捨てるに忍びない」と、供養をするかどうか迷っているお客様に對しては、「その気持ち自体が十分な供養になるのだから、必ずしもお金をかけてお炊き上げなどの供養をしなくても大丈夫ですよ」と、お声がけをさせていただくことがある。

本当に必要なものや大好きな写真、心の負担にならないものは残しておいて、それ以外のものは「お疲れ様」「ありがとう」という気持ちでお別れをすればよいのではないか。これは遺品整理に限らず、整理収納アドバイザーとして、生前の方にお片付けのアドバイスするときも同じだが、特に故人が大事にしていた遺品となると、すべて供養しなければならぬ、高貴なものであるかのように考えてしまい、捨てることに罪悪感を持つ遺族も多い。

そういう遺族に対しては「罪悪感を持たなくても大丈夫ですよ。用が済んだものは、感謝の気持ちを持って世の中に回してあげるのもよいのではないでしようか」と声をかけ、背中を押してあげることも我々の役目だと思ふ。

最近では孤独死や無縁死をされる高齢者の方が多く、「遠い親戚が地方にいるので、立ち会うことはできな

いが、片づけておいて欲しい」と、我々に仕事を依頼されることもある。そういうときでも、我々が遺族の代わりに敬意を払って、遺品を取り扱うことは重要だと考えている。

遺品を注意深く仕分ける

遺品整理の仕事で、依頼された故人のお宅に入ったら、まず仕分けを行う。現金や通帳、証券、貴金属類などの貴重品と、アルバムや手紙などの思い出の品は、ごみとして廃棄するものと混ざらないように、注意深く選り分けていく。仕分け作業をとっても重要だと考えており、①貴重品や愛着品を見落とさないため、②液体物や危険物を見落とさないため、③リユースや歴史的に大事なモノを見落とさないため、そして④分別し環境負荷を減らす、そのための仕分け作業だと考えている。

もし供養して欲しい遺品があれば、予め希望を聞いておき、供養寺で供養をする。中には、人形なども全て供養し欲しいという依頼もあり、人形であれば人形寺で供養する方法もあるが、何でも1つひとつ供養しようすると費用が高くなってしまふので、お客様の負担がなるべく大きくな

ないような方法について、お話しをさせていただくこともある。

買取品については、最初に見積もりをする段階で判断し、例えば大量の書籍がある場合は、古書店に出張買取を依頼する。アンティーク家具などのリユース品については、当社も古物商の許可を取得しているの、車に搭載できる量なら自社で運び出して専門店で見積りしてもらおうが、量が多いときは別途車両を手配する。設置したばかりの新しいエアコンなど、数年間使用しただけの家電などは、リサイクルショップに取り外しから買い取りまでを一括で依頼し、値段をつけてもらう。

問題は、お客様が高価買取を望むケースだ。(次号に続く) **W**

●執筆者プロフィール●

古川めぐみ | Kogawa Megumi

遺品整理・生前整理・終活整理をサポートするサービスを手掛けるアメージー(株)代表取締役。遺品整理アドバイザー。整理収納アドバイザー。古物商。なるべく捨てたくない、使っ